

2次案内

日本ピア・サポート学会 第17回総会・研究大会（京都大会）のご案内

目に見えないものをとらえる心 —ピア・サポートと対人援助—

初秋の京都で会いましょう

第17回総会・研究大会は京都で開催されます。京都駅から二駅の立命館大学朱雀キャンパスが会場です。現地実行委員会では、はんなり、ほっこりとできる京都らしい大会にしようと知恵を出し合っています。

ピア・サポートや対人援助の原点は、相手のことをイメージするところから始まるのではないのでしょうか。それは、目に見えたり語られたりする世界の向こうにある見えない相手の世界と自分の世界をつないでいく営みでもあります。ワークショップでは、京都の住職の方とのコラボレーションにより、生きることや世界平和について考える現地企画を2つ行います。また、全体会シンポジウムは、大会テーマ「目に見えないものをとらえる心」を正面に据えて、東日本大震災への支援活動を継続してこられた演奏家ロビン・ロイド氏とわたせせいぞう氏、団 士郎氏をお迎えして行います。また、学生の街京都にふさわしい企画として、「ピア・カフェ」（学生交流会）も企画しました。実践や研究を持ち寄りながら、交流を深めましょう。初秋の京都でお待ちしています。

第17回総会・研究大会 大会委員長 春日井 敏之

- 期 日：2018年10月7日（日）～10月8日（月・祝）
- 主 催：日本ピア・サポート学会
- 後 援：日本学校教育相談学会
- 会 場：立命館大学朱雀キャンパス（京都市中京区西ノ京朱雀町1）JR二条駅下車徒歩3分

第17回 総会・研究大会概要

★資格更新ポイント：2ポイント

1. プログラム

1日目▶ □10月7日（日）

9:00	9:30～12:30	12:30～13:30	13:30～14:30	14:35～17:30		18:15～20:15
受付	ワークショップ	昼食	総会	研究・実践発表 (分科会)	移 動	情報交換会 (京都ブライト ンホテル)
		ピア・カフェ (学生交流会)				

第1部会 「ウェルビーイングとピア・サポート」現地企画 —祈りや感謝の心を「縁（えにし）」であらわすということ—

講師：仲田順英（醍醐寺 執行・総務部長）
菱田準子（立命館大学大学院 教授）

誰かの行為は必ず誰かに影響しています。無駄なものは何もないのです。なので、できることが大切なのではなくて、やるという行為そのものが大切なのです。そして、やる行為はすべて自分にもどってきます。辛いことがあっても「縁（えにし）」が自分を支え、自分に余裕を運んでくれる行為、それはピア・サポートに通じるものです。このワークショップでは仲田順英氏のわかりやすい導きのもとに、宗教をこえた目に見えないけれど確かにそこにあるものを参加者が体感・表現し、祈りや感謝の心をつなげあっていきたいと思います。合掌。

第2部会 「世界平和とピア・サポート」現地企画 —世界一貧しい国の大統領のスピーチ—

講師：中川 学(瑞泉寺住職・イラストレーター)
増田梨花（立命館大学大学院 教授）

皆さんは 2012 年、リオデジャネイロで国際会議が開かれた時にスピーチをおこなった、ウルグアイのホセ・ムヒカ前大統領のことはご存知でしょうか？日本では本ワークショップの講師のひとりである、京都瑞泉寺のご住職でありイラストレーターでもある、中川学氏のイラストの絵本が刊行されてから彼のスピーチは日本でも注目され始めました。本ワークショップでは「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」（くさばよしみ編集 中川学イラスト 汐文社）のいくつかの絵本のページを取り上げ、グループワークをしながら、「世界平和」と「ピア・サポート」について考えを深めていきたいと思います。事前に絵本を一読し、本ワークショップに参加していただけると嬉しいです。

第3部会 「解決志向とピア・サポートで誰もが望む学校・学級づくり」

講師：黒澤幸子（目白大学 教授）

解決志向ブリーフセラピーは、心理臨床のなかでも、効果性・効率性・安全性・汎用性に優れたモデルです。「解決志向」とピア・サポートを組み合わせた「解決志向のクラスづくり」や「サポートグループ・アプローチ」は、いじめや不登校等の教育課題の予防・解決、そして子ども達の成長に役立つ画期的なプログラムとして注目されます。また、「解決志向」を用いることで、教員同士のピア・サポート力もアップします。これらをワークとともに楽しくご紹介します。「解決志向」を初めて学ぶ方々もこの機会に是非体感してみてください。

第4部会 「学校改善とピア・サポート」

講師：西山久子（福岡教育大学大学院 教授）

ピア・サポートをどのように学校改善に活用するかについて、1人の先生から学年へそして学校全体や地域へと広げられたいくつかのケースを参考に、担当者やスクールリーダーからの実践展開の在り方について考えます。

現場では「与えられた課題には熱心に取り組むけれど、主体性が…」とよく言われます。子どもたちが自分の良さを知り、それを生かすことができるようになることを目指し、ピア・サポートの学校その他の機関における、組織的な導入・推進の方法について、参加の皆様の実践もうかがいながら、ご一緒に検討する予定です。

第5部会 「ピア・サポート活動に不可欠な『傾聴』の学びを深める」

講師：高野利雄（宝光学園・宝仙学園SC）

トレーナーやコーディネーターによる学校や地域でのピア・サポート活動の普及活動は《支え合える人々》を育てることで、受容と共感による相互理解が基礎になっています。そこで普及活動のプロセスでは傾聴の態度と技法を伝えることになり、私たち自身も身につけていくことが求められます。

学会では有資格者が学び合いたいこととして「傾聴」を必須のこととしています。この機会をご活用ください。

第6部会 「ピア・サポートの研究論文・実践論文の書き方」

講師：栗原慎二（広島大学大学院 教授）

コメを磨いて不要な部分を捨て、麴を混ぜ発酵させ、さらに濾過することでコメは日本酒になります。同じコメを使っても、どれだけ磨くか、どんな麴かで味と香りは全く変わります。精米率が上がれば本醸造、吟醸、大吟醸と日本酒の風味は変わります。研究もこれと似ています。同じ実践でもどの部分を研究の素材にするのか、どのような理論で実践を使うのか、得られた成果のどの部分を拾い上げるのかによって全く異なる研究になるわけです。今回の講座では、ピアの研究にはどんな理論が使えるのか、実践のどの部分をどう使えばいいのか、そうしたことを学びます。

第7部会 「ピア・サポート実践の広がり可能性」 — 調査研究からの提案 —

講師：春日井敏之（立命館大学大学院 教授）・調査研究委員会
三枝由佳里（大阪市立東淡路小学校 校長）
池 雅之（高知工科大学 教授）

初めに、子ども、青年を取り巻く社会的状況や課題、改訂学習指導要領についても触れ、ピア・サポート活動の現代的意義について確認していきます。次に、今年度実施した「小学校、中学校、高等学校におけるピア・サポートの取組状況に関するアンケート」の集計結果について報告します。同時に昨年の大会で報告した「大学等におけるピア・サポート活動調査」後の他団体等の動向や独自性のある取組について紹介します。ピア・サポート実践がどのように広がっているのか、取組状況や成果と課題等について報告し、今後の可能性について、皆さんと共に協議していきたいと思っております。どなたでもご参加ください。

□ピア・カフェ（学生交流会）【12:30～13:30】

コーディネーター：西川 大輔（京都府立南山城支援学校）
松田 優一（関西大学）

全国のピア・サポートに携わる学生のみなさん、あつまれ！！ 昼食持参の上、ご飯を食べながらピア・サポートのあれこれを語り合い、交流しましょう！交流の中で新たな発想に出会えるのはあなた次第です…！

□総会【13:30～14:30】

平成29年度の学会活動報告と平成30年度活動計画案を提案し、今後の本学会のすすむべき方向について、会員のみなさまと共に共通理解を図りたいと思っております。

□ 研究・実践発表（分科会）【14:35～17:30】 PS=ピア・サポート

1 発表 40 分（発表 20 分+討議・質疑応答 15 分+座長からのコメント 5 分）×4 展開、移動 5 分

分科会	座長	14:35～15:15	15:20～16:00	16:05～16:45	16:50～17:30
A 大学生 実践	春日井敏之 立命館大学 大学院	大学生を対象としたPSTレーニングの検討 松下 健 北陸学院大学	高校生のPSへのイメージについて 堀内 悠 立命館大学大学院	大学生による「デートDV」の出前授業の効果 下山 恵子 大阪経済法科大学	ピア・サポーターとスタッフの活動及び成長について 池 雅之 高知工科大学
B 大学生 効果	栗原慎二 広島大学 大学院	PS研究10年のあゆみ 近藤 充代 愛知学院大学大学院	小学生を対象としたPS活動の企画と実践が大学生に与えた影響の検討 澤 聡一 北翔大学	システム、コーディネーター、サイクルの視点でのPS活動の実践報告 金山 健一 神戸親和女子大学	PS活動団体に所属する大学生の参加動機と継続動機について 松下 彩花 立命館大学
C 小・中 学校	山田日吉 岐阜大学	小学校校長として学校経営にMLAに取り組んだ5年間の実践 小林 勉 学校教育開発研究所	PSの枠組みで見直した遠足の取り組み 青木 武史 新潟市立下山小学校	勤務校での7年間の実践、成果と課題について 吉田ゆかり 札幌市立屯田北中学校	「自主自立」を目指した学年経営の中で取り組んだ3年間の活動 細川 学 新潟市立葛塚中学校
D 地域・ コミュ ニティ	森川澄男 名誉会長	特別支援学校高等部における実践活動の発表 藤井 謙介 神戸市立青陽須磨支援学校	PS活動の実践と課題Ⅲ - 学生サークルと地域拠点事業の広がり - 栗原ひとみ 植草学園大学	絵本と音楽のコラボレーションイベントの考察 中野 修 石川県中能登教育委員会	PS活動に参加する大学生の主体性について 東京大学大学院 河 美善
E 認知・ 研究	池島徳大 兵庫教育大 学大学院	「歴史のルーツ」と「教育活動の成果」の視点から、PSの累計と概念の整理を試みる 周 孝誠 京都大学教育学研究科	長期不登校生徒に対してサポートグループ・アプローチを用いた事例の談話分析 相模 健人 愛媛大学教育学部	子ども同士が互いにポジティブなフィードバックを行うPPRの効果 松山 康成 寝屋川市立啓明小学校・広島大学大学院	児童期に焦点を当てた児童の友人関係および思いやり・協調性との関連について 山田 洋平 島根県立大学
F 教員 養成	西山久子 福岡教育大 学大学院	PSPを柱とした教員育成のあり方について 塚田 孝子 福井県教育相談研究所	全教職員によるピア学校風土のコミュニティ・デザイン 枝廣 和憲 立命館大学大学院・名古屋市立大学	新任教諭を対象にしたPSの研修（新任研修）の効果について 遠藤 祐希 浦和学院高等学校	もう一つの教員の働き方改革・ジョブクラフティングの研修効果と考察 菱田 準子 立命館大学大学院

□ 情報交換会（懇親会）【18:15～20:15】

場所：京都ブライトンホテル 1階 慶祥雲の間

〒602-8071 京都市上京区新町通仲立売（御所西） TEL：075-441-4411

情報交換会（懇親会）を大会1日目の夜に開催します。どなたでもご参加いただけます。事前申し込みをお願いします。会場は、料理に定評のある「京都ブライトンホテル」です。会場までは、当日スタッフがご案内しますので、必ずシャトルバスをご利用ください。

2日目▶□ 10月8日（月）

大会記念シンポジウム（公開講座）

テーマ：目に見えないものをとらえる心 ―ピア・サポートと対人援助―

9:00	9:30～12:00	～12:10
受付	ゲスト演奏：ロビン・ロイド（民族音楽家、音楽療法士、詩人） 《シンポジスト》 わたせせいぞう（イラストレーター、元神奈川大学特任教授） 団 士郎（家族療法家、漫画家、元立命館大学大学院教授） コーディネーター：春日井 敏之（立命館大学大学院教授）	閉会 行事

「星の王子さま」サン＝テグジュペリ（著）、Antoine de Saint-Exupery（原著）、内藤 濯（翻訳）2000、岩波書店のキツネの言葉に「大切なものは目には見えないんだよ！一心で見なくちゃ、ものごとはよく見えないってことさー」という一節がある。「心」は、人が生きていくうえで切り離すことができないものである。ただ、目に見えない「心」のメカニズムには謎が多く、その謎に迫る学問として、心理学、教育学、脳科学等、現在もさまざまな学問分野からのアプローチが行われている。

科学技術が現代の私たちの生活を豊かにした。しかし、それに頼りすぎることによって、私たちの発想は豊かさを失っていないだろうか。自分や他者の心、対人関係において浮かび上がってくるさまざまな問題の奥にある複雑な背景などは見えないものとして存在していることが多い。「目に見えないものを大切にし、きちんと受け止める」ことの大切さを日々実感しているものの、どうしたらそのような力が育つのだろうか。

今回のシンポジウムでは本大会のテーマである「目に見えないものをとらえる心」をテーマに、わたせせいぞう氏、団 士郎氏のお二人の講師からお話をいただく。それぞれの講師の創作活動の経験やこれまで大学や大学院での授業を通して学生達にイメージ力をつける教育を大切にされている意義等についてお話をさせていただく。その後、柔軟な推理力や想像力をもったしなやかな「イメージ力」をもち、自分にも他者にも温かな眼差しを向けることのできる、即ち「目に見えないものをとらえる心」をもった人間を育てるには、何が必要なのかについて、コーディネーターの春日井敏之本大会委員長を交えてフロアーの方々と質疑応答を含めたディスカッションによって深めていく。

《講師紹介》

・わたせせいぞう氏 <略歴>



神戸市生まれ。大学卒業後は、同和火災海上保険（現・あいおいニッセイ同和損害保険）の営業職として勤務。休日を利用して絵を描き始める。会社の広報誌などのイラストも描いて公認されていた。1974年に第13回小学館ビッグコミック賞を受賞する。1983年、代表作の「ハートカクテル」を『モーニング』（講談社）誌上で連載開始。1986年にアニメ化とドラマ化もされた。1989年に連載を終了。1985年、会社幹部への人事異動が決まった時、「絵を辞めなければよかった」と後悔する自分の姿を想像したため、16年間勤務し続けた同和火災海上保険を退社した。以降、作家活動に

専念する。1987年には「私立探偵フィリップ」で第33回文藝春秋漫画賞を受賞。神奈川大学では7年間、外国語学部国際文化交流学科に所属し、「日本文化論（表象）」を担当。大学生対象にイメージ力をつける授業をおこなっていた。今年の4月21日（土）～7月1日（日）、宮城県石巻市の石ノ森漫画館にて、「わたせせいぞうの世界展 ～ハートカクテル in 石巻～」を開催。復興地支援にも心を注いでいる。— ボクがファンレターを出した唯一の漫画家・石ノ森章太郎。石ノ森さんが描く“美しい女性”がボクの作品の原点である—わたせせいぞう

・団 士郎氏 <略歴>



公立の児童相談機関等で家族心理臨床に関わり続け、25年を経て独立。これまで、相談（家族面接、個人面接）、教育（大学院・大学）、現任者訓練（対人援助職者のための継続ワークショップ）、そして漫画家・執筆者としての発信すべてを、家族心理臨床をベースに展開されてきた。1998年から「仕事場 D・A・N」主宰。立命館大学大学院教授を務める傍ら、講演やワークショップを全国に展開。漫画家でもあり、『家族の練習問題』は第7巻を刊行中。マンガ集団「ぼむ」同人、web雑誌「対人援助マガジン」編集長。2018年3月、立命館大大学院教授を退職。東日本大震災から

7年、団氏は、2011年から女性問題や戦争トラウマを研究する村本邦子氏らと共に東北4県を巡り、公民館などで「団さんの漫画」をパネル展示して、被災者や支援者との語らいの場を提供する「東日本・家族応援プロジェクト」漫画展を毎年開いている。そして全国各地で家族療法・家族理解のワークショップを精力的に行っている。団氏がずっと着目してきた家族の存在。家族をシステムとして、その関係性から相談者が抱える問題の解決の糸口を探ってきた。なぜそこまで家族にこだわるのか。「家族の物語にはその人の暮らしの全てが含まれる」からだという。

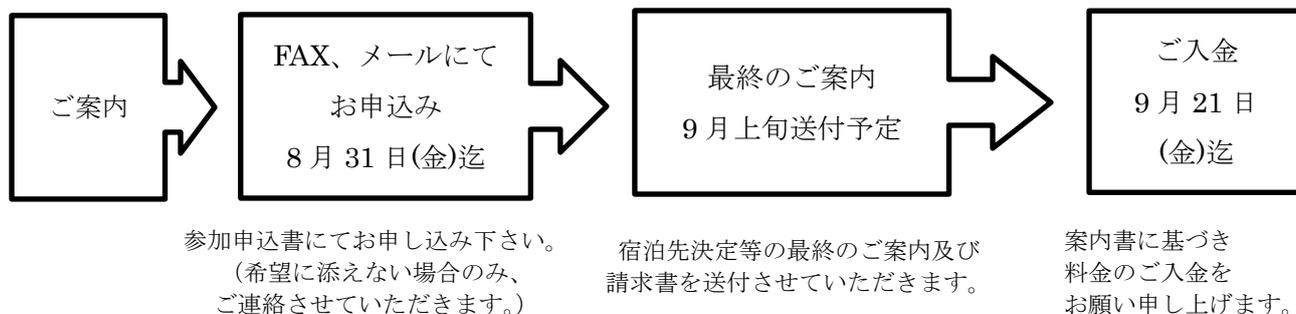
《ゲスト演奏》ロビン・ロイド（Robbin Lloyd）氏 民族楽器奏者、音楽療法士、詩人。

1955年イリノイ州生まれ。現在は京都を拠点に活動中。カリンバや尺八、パーカッションなど多種多様な楽器を操るマルチプレイヤーとして名高い。これまで世界50カ国以上を旅し、民族楽器を学びながら出会った人々や目にした物を詩に綴っている。2008年にはイラストレーターで京都瑞泉寺住職でもある僧侶中川学氏とともに、著書『HAPPY BIRTHDAY Mr. B!』（コンテンツ・ファクトリー刊）を出版。2010年には、世界の子どものことを考えるきっかけとなる絵本、「1年に1度のアイスクリーム」（コンテンツ・ファクトリー刊）を出版した。近年は民族楽器を使った音楽セラピーにも力を注ぐ。また、立命館大学応用人間科学研究科の震災プロジェクト、増田梨花氏らと共に「チーム石巻」に参加し、立命館大学の大学院生らと石巻市を中心にした復興地での演奏活動を精力的に行っている。

参加申し込み及び宿泊のご案内

参加お申込及び宿泊のご案内

1. お申し込み方法のご案内



申込締切日： 2018年8月31日(金)12:00 必着

(1) お申し込み方法

別紙、参加申込書に必要事項をご記入の上 2018年8月31日(金)までに末記の日本旅行京都四条支店へファックス又は郵送又はメールにてお申し込みください。

※お電話でのお申込みはお受け致しかねますので予めご了承ください。

※メールでのお申込みは、Word ファイルを学会ホームページの京都大会の案内からダウンロードし、必要事項を記入の上、メールに添付してお送りください。

(2) ご確認・精算方法

お申し込みの皆様には、9月上旬(送付予定)頃を目処に日本旅行よりお申込の請求書及びご案内書等を送付させていただきます。

お支払いにつきましては、請求内容をご確認の上日本旅行の指定口座へ2018年9月21日(金)までにお振り込み頂きますようお願い申し上げます。お振込の際、振込手数料は申込者ご自身のご負担にてお願い致します。

2. 総会・大会参加費

(税込)

	会員	会員(学生)	非会員	非会員(学生)
総会・大会参加費	7,000円	3,000円	8,000円	3,000円
ワークショップのみの参加費	—	—	2,000円	2,000円
シンポジウムのみの参加費	—	—	2,000円	1,000円

※9月7日(金)以降にお取消された場合、参加費などは一切返金致しかねます。予めご了承ください。

3. 情報交換会

日時：10月7日（日）18:30～

会場：京都ブライトンホテル (税込み)

	一般の方	学生・院生
情報交換会参加費	7,500 円	4,000 円

<情報交換会に関する取消料基準> (税込み)

	9月7日以前	9月10日以降
取消料	無料	料金の100%

※情報交換会の手配は旅行契約ではございません。手配先との取決めにより上記取消料を適用させていただきます。

4. 宿泊代

宿泊施設一覧を参照のうえ、ご希望のホテルの申込記号を申込書へご記入ください。

5. 昼食代

10月7日（日）お弁当・お茶付 1,000 円（税込）

<弁当に関する取消料基準>

	10月5日以前	10月5日以降
取消料	無料	料金の100%

※弁当の手配は旅行契約ではございません。手配先との取決めにより上記取消料を適用させていただきます。

宿泊について（募集型企画旅行契約）

◎宿泊取扱日

2018年10月6日（土）・7日（日）・8日（月）

◎宿泊ホテル ※設定ホテル詳細は次頁をご覧ください。

（宿泊条件：1泊朝食付、サービス料税金込、お一人様あたりの料金）

添乗員：同行いたしません（各宿泊施設でのチェックイン手続きは、お客様ご自身で行っていただきます）

最少催行人員：1名

※特定のホテル及び部屋タイプに、ご希望が集中する場合がございます。その際は上記施設の中からお希望以外の施設をご案内させていただく場合がございますので、ご了承下さい。

※朝食が不要の場合でも特別設定料金のため、ご返金はできません。個人勘定及びこれに伴うサービス料金と諸税は各自ご清算願います。

◎お申し込みについて ※先着順で承ります。

所定の申込書に記入の上、郵送又はFAX又はメールにて「日本旅行京都四条支店」までお申込下さい。

お申込み受付後、日本旅行よりファックス又はメールにて受信確認をお送りいたします。

なお、お申込み後7日以内に返答がない場合は、お手数ですが日本旅行までご連絡ください。

※予約している客室数には限りがありますのでお早めにお申し込みください。先着順で承ります。

◎申込書記入方法

ご希望のホテルは第1希望から第2希望までご記入ください。ご希望に添えない場合は別途ご案内させていただきます。変更・取消の場合は、変更箇所を明記しFAXまたは郵送又はメールにてお知らせ下さい。

◎取消料

お申込後、お客様のご都合により予約を取消される場合は下記の取消料がかかります。

取消日	21日前まで	20～8日 前まで	7～2日 前まで	前日	当日	旅行開始後の解除 又は無連絡不参加の場合
取消料	無料	20%	30%	40%	50%	100%

※振込後に変更・取消が発生した場合は大会終了後に取消料を差引いて返金させていただきます。

◎宿泊確認書の発送について

10月3日(水)までに申込書記載の書類送付先にご宿泊案内を送付します。

◎ご旅行代金のお支払い

請求書到着後、記載の期日までに記載の専用口座にお振込ください。振込手数料は、お客様負担にてお願いします。差額及び変更による追加・返金は、大会終了後の精算とさせていただきます。

◎宿泊ホテルマップ・会場までのアクセスについて



＜取扱ホテル＞ （宿泊条件： 1泊朝食付、サービス料税金込、お一人様あたりの料金）

記号	ホテル名	部屋タイプ	料金(10/6)	料金(10/7)	料金(10/8)
A	ANAクラウンプラザホテル京都	ツイン（1名利用）	33,000	33,000	29,000
C	からすま京都ホテル	シングル	16,500	16,500	16,500
D	ヴィアイン京都四条室町	シングル	14,000	14,000	14,000
E	ハートンホテル京都	シングル	16,500	16,500	16,500
F	ダイワロイヤルホテル京都四条烏丸	シングル	23,000	23,000	23,000
G	ホテルユニゾ京都四条烏丸	シングル	27,000	27,000	11,000
H	コートホテル京都四条	シングル	16,000	16,000	16,000
I	アークホテル京都	シングル	14,000	14,000	12,000
		ツイン（1名利用）	18,000	18,000	16,000
J	ベッセルホテルカンパーナ京都五条	シングル	26,500	26,500	26,500
K	ホテルモントレ京都	シングル	24,500	24,500	15,000

◎会場までの移動について

京都までの移動の交通手配及び、会場までの移動については、参加者様各自にてお手配をお願いします。
また、京都駅等からの会場までの移動についても公共交通機関等にて各自にてお手配頂くようお願いします。

国内募集型企画旅行ご旅行条件書（要約）

《本旅行条件書の意義》

この書面は旅行業法第 12 条の 4 に定めるところの取引条件の説明書面及び同法第 12 条の 5 に定めるところの契約書面の一部となります。

「お申込み・お支払いのご案内」

このご旅行は、株式会社日本旅行（以下「当社」といいます）公務法人営業部が企画・募集し実施する旅行です。このご旅行に参加されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約を締結していただくことになります。

- (1) 申込書に必要事項をご記入の上お申込みください。
- (2) 申込受付後、予約確認書、お支払のご案内を送付しますので、ご確認の上 2018 年 9 月 21 日(金)17:00 までにお支払いの手続きをお済ませくださいようお願い申し上げます。

お振込先：みずほ銀行 十五号支店 普通口座 3105052 口座名 株式会社日本旅行 【ATM 表示：カ）ニホンリヨコウ】

※ なお送金手数料はお客様でご負担をお願い申し上げます。

(3)

※ 予約の成立について

〈FAX・郵便・メールでご予約の場合〉

FAX は 24 時間受け付けますが、予約可否のご回答は各取扱支店の営業時間内に差し上げます。ご予約がお取りできた旨、FAX 又はメールにてご連絡した時点でご予約が成立となります。

※ 契約の成立について

ご旅行契約の成立に付きましては以下の通りとなります。

(契約内容に付きましては弊社旅行業約款をご参照ください)

〈FAX・郵便・メールでご予約の場合〉

ご予約成立のご連絡後、代金を振り込みでいただいた時点で契約が成立となります。

※ご案内するお支払い期限内にお振込み又は決済打合せのご連絡が無い場合、ご予約を取り消させていただく場合がございます。

■お申込み締切日

- (1) 2018 年 8 月 31 日(金)12:00

■旅程管理について

国内宿泊、交通等の手配のみを行うフリープランの場合、約款に定める旅程管理は行いません。旅行サービスの提供を受けるために必要なクーポン券類または予約確認書類をお渡しいたしますので、サービスの提供を受ける手続きはお客様自身で行っていただきます。また添乗員は同行いたしません。

■取消、変更のご案内

- ・ 変更、取消のご連絡は必ず FAX、E メールなど書面にてお願いします。
- ・ 宿泊のみのご予約の取消料は下記の通りです。

取消日・・・・・・・・・・取消料

- 宿泊開始の 21 日前まで・・・・・・・・・・ 無料
- 宿泊開始の 20 日前から 8 日前まで・・・・・・・・ (旅行代金の) 20%
- 宿泊開始の 7 日前から 2 日前まで・・・・・・・・ (旅行代金の) 30%
- 宿泊開始の前日・・・・・・・・ (旅行代金の) 40%
- 宿泊開始の当日・・・・・・・・ (旅行代金の) 50%

■宿泊開始後の取消及び無連絡での不泊・(旅行代金の) 100%

■個人情報の取り扱い

- (1) 当社は、旅行申し込みの際にご提供いただいた個人情報について、お客様との連絡や運送、宿泊機関等の手配およびそれらのサービスの受領のために必要な範囲内で利用させていただきます。
- (2) 当社、当社グループ会社および販売店では、1) 取り扱う商品、サービス等のご案内。2) ご意見、ご感想の提供・アンケートのお願い。3) 統計資料の作成。にお客様の個人情報を利用させていただくことがあります。
- (3) このほか当社の個人情報の取り扱いに関する方針等については、[当社のホームページ](#)をご参照下さい。

■お申込み・お問合せ先

旅行企画・実施：株式会社日本旅行 京都四条支店

観光庁長官登録旅行業第2号

【住所】京都市下京区四条通り柳馬場西入ニッセイ四条柳馬場ビル2階

【TEL】075-223-2311

【FAX】075-221-1726

【メールアドレス】peer-s.jp@nta.co.jp

【担当者名】高須・窪田

営業時間：月～金 09:30～17:30（土日祝休業）

総合旅行業務取扱管理者：三道俊宏

一般社団法人日本旅行業協会正会員・ボンド保証会員

旅行業公正取引協議会会員

※ 総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引の責任者です。この旅行の契約に関し担当者からの説明にご不明な点がございましたら、ご遠慮なく表記の総合旅行業務取扱管理者にご質問ください。

ご旅行条件の基準日：2017年12月2日

上記に表示のない契約の内容・条件は、[募集型企画旅行ご旅行条件書](#)、[当社旅行業約款（募集型企画旅行契約の部）](#)によります。事前にご確認のうえお申込ください。

